ハンガリー留学体験記　m2131 藤本結

2022 年の夏から 2023 年の夏まで 1 年間ハンガリーに留学をしていました。その時の体験記をここに書こうと思います。

1 年生の時に日本に飽きたという理由で決めた留学でしたがまさかハンガリーに行くとはその時は思っていませんでした。幼いころからのヨーロッパへの憧れや日本人が少ない国ということで東ヨーロッパに位置するハンガリー語を公用語とする未知の国ハンガリーに決めました。しかし、留学国は正直なところどこでもよかったというのが本音です。

ハンガリーという非英語圏に留学し、全く新しい言語、文化に触れ本当に毎日充実していました。クラスでアイスパーティと称し各々家からアイスを持ち寄りどろどろに溶けたアイスをたくさん食べた日、ドナウ川のクルーズ船に乗り国会議事堂をはじめとする首都ブダペストの夜景を一望した日、クラス旅行でスペインに行き、ホテルのベランダから隣の部屋に移動した日、ホストファミリーとたくさん笑いながらキッチンで一緒に料理した日など、今思い出しても笑えるくらい毎日がかけがえのない特別なものでした。

そんな留学生活で、英語が国際語であっても、世界共通言語では無いということ、そして日本人、日本はたくさんの人に愛されているということを実感しました。留学がまだ始まってばかりのころ、街中で声をかけられてもハンガリー語が分からず、コミュニケーションにとても困ったことがありました。その事をホストファミリーに話すと、私は日本人ですというハンガリー語だけでも覚えなさいと言われました。最初は疑問に思いましたが、それを実践してみると日本人と言うだけで、相手は笑顔になることがわかりました。そして、私の英語、カタコトのハンガリー語を理解しようとしてくれました。とてもうれしかったのを覚えています。

日本人であるだけでなぜこんなにも優しくしてくれるのだろうかと思いましたが、それは昔の日本人の方が築き上げてきた日本人の優しさや、奥ゆかしさからきているものだと感じました。私はこの留学に日本にいるのが飽きた、もっと色んな世界が見たいという理由で留学しました。もちろん世界には素晴らしい景色が広がっていたし、文化も全く違って面白かったですが、それらに負けない日本の景色、文化、日本人の性格がどれほど素晴らしいか実感することが出来ました。これからは日本人に生まれたことに誇りを持ち海外で活躍出来る人になりたいです。

↑ドナウ川から眺めた国会議事

↑町中にたくさんあるジェラート屋の中でもラベンダーアイスが一番好きでした

↓放課後よく友達と行った野外コンサート

↑古着屋やカフェが立ち並ぶ若者に人気のエリア

↑ドナウ川に架かる橋を渡ると歩いて隣の国スロバキアに行くことができます

↑日本のなまはげ的存在 busó járás

↑ハンガリーの伝統料理 gulyásleves.
パプリカパウダーで味付けされています

↑いろんなところから国会議事堂を眺めることができます

↑ドナウ川から見た初日の出

↑直訳すると煙突ケーキ 300 円くらいで買えて町のいたるところにお店があります

↑クリスマスマーケットとクリスマスの時期のライトアッ

↑少し街を外れると急にかわいい街が広がっていました

↑12kg 太った原因の 3 割くらいを占めるミルカチョコレート